腹部血管造影法（患者用クリニカルパス）

入院年月日：20　　年　　月　　日　　退院予定日：20　　年　　月　　日

ID ＿＿＿＿＿＿＿＿

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 様　　主治医 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＊状況により予定が変更になる場合があります。ご了承ください。

	入院前	入院日	治療当日（　／　）		治療後１日目	２日目～退院日
	入院申し込み	／	治療前	治療後	／	／
検査・処置		検温・身体測定を行います 必要時、検査をします（採血・X線撮影・心電図・出血時間） 両足の動脈に印をつけます 両股の毛剃りをします	**午前・午後　　例目です** 尿留置カテーテルを入れます 軽い鎮静剤を１時間前に内服します 検査着、検査用パンツに着替えます	検温　３時間後、６時間後 穿刺部の、出血の有無、 両足動脈の触れを確認します	検温（午前） 採血・CT検査（必要時） 尿留置カテーテルを外します 医師診察(午前・検査医)	２日目～絆創膏を外します ※ラジオ波 エタノール注入療法の 患者さまは別紙を 参照してください
薬・注射	内服中止の薬 □無し □有り （　　）は 月 日より内服出来ません 入院時、お薬手帳や、 薬剤情報用紙をご持参ください	使用している薬や 中止になっている薬を 確認します	治療日の内服 □（　：　）に（　　）を内服して下さい □朝内服後、昼内服は（　　）です インスリン注射をされている場合は、 （　　）です 左手から点滴をします	 翌日の安静解除後まで 点滴をします →	点滴終了	
安静・排泄		院内自由 →	→	朝の安静解除後まで、ベッド上安静 6時間後に圧迫帯を緩めます 頭元を45度まであげることができます 排尿・排便はベッド上です （尿器・便器使用）	検査医が圧迫帯を外し、 穿刺部消毒の後 歩行できます それまではベッド上安静 で起き上がれません	
食事・飲水		飲水制限はありません	治療開始時間が □午前→朝食は絶食です □午後→朝食後絶食です 水・お茶は少量ずつならば可	帰室後より飲水可能です 食事は3時間後より可能です ※造影剤を排出させるため水分は十分にとってください 治療後は食べやすい形の食事に変更しています	朝食は、安静解除後に お持ちします	
清　潔		※治療に備えて入浴をすませましょう			清拭をします	入浴出来ます
患者・家族への説明	今までの生活について伺います　心配なことは、内科外来にお知らせ下さい 不明な点は患者支援センターに ご連絡ください **必要物品** **楽のみ又はストロー**	医師より、治療について 説明があります 看護師より 治療後の注意点などの 説明を行います	一階の血管造影室で治療を行います 検査医（放射線科医）が局所麻酔後、股の動脈からカテーテル（管）を挿入し、目的の臓器まで入れ造影剤を注入しながら撮影します その後薬剤を注入します（腹部が熱く感じます、造影剤によるものです） 終了後、カテーテルを抜去し、穿刺部を約10～15分圧迫止血します 止血後、穿刺部を消毒し、圧迫枕とバンドで固定します **ご家族の方は検査室前の椅子でお待ちください** **出血予防のため穿刺した側の足は曲げないようにしてください** **足が動く場合は安全ベルトを使用することができます**			退院日が決まりましたら 退院の説明をします 退院は10時までですので ご協力をよろしくお願いします 退院オリエンテーション
医　事	入院生活のご案内・入院予約	医療費の支払いや手続き等、医事に関するお尋ねがある場合は看護師にお知らせ下さい				退院前日試算を行います 退院証明書をお渡しします

0502

＊クリニカルパスは、入院時に必ずご持参下さい。

製鉄記念八幡病院　改訂日 2025/9/8